

スーパーシティ／スマートシティの相互運用性の確保等 に関する検討会について（案）

1. 趣旨

スーパーシティ／スマートシティの取組を推進するに当たっては、各種サービスの連携に向けた API の公開ポリシーの共有や、データモデルの標準化等により、都市間の相互接続性が確保されることを通じて、その健全な競争を促す環境を整えることが重要である。これにより、全ての国々が、特定の技術で固定されることなく、まちづくりに世界中のイノベーションの成果を取り込むことが可能となることが期待され、そのために必要な環境整備のあり方や、国が果たすべき役割についての検討が急務となっている。

2. 検討課題

SIP 事業（戦略的イノベーション創造プログラム）で検討が進められている政府統一アーキテクチャーを参照しつつ、3. の有識者等をメンバーとして、例えば以下のような取組の内容について検討を行う。

- ① 各種サービスにおける API の公開ポリシー
- ② 公開された API の登録・管理の仕組み
- ③ データプロファイルの標準化
- ④ 相互接続を通じた競争力あるシステムの育成を促す仕組み
（検討事項例）

- ・ 国勢調査のデータをマスターデータとし、有効な行政オープンデータを構築
- ・ データクレンジングのためのツール開発

3. 検討会メンバー（案）（敬称略）

越塚 登（座長候補） 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授
奥井 規晶 （一社）官民データ活用共通プラットフォーム協議会代表理事
坂下 哲也 （一財）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）常務理事
櫻井美穂子 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主任研究員/准教授
関 治之 Code for Japan 代表理事
田丸健三郎 日本マイクロソフト（株）業務執行役員
（調整中） 総務省
平本 健二 政府 CIO 上席補佐官
水野 宏治 国土交通省道路局企画課評価室長

※上記常設メンバーの他、必要に応じ有識者等の意見を聴取するものとする。

4. 事務局

内閣府科学技術・イノベーション担当、内閣府地方創生推進事務局

以上